

Ⅲ 横須賀三浦地区 ～海・みどり・歴史・活力～ まるごと公園半島～

● 主な取り組み

1 海とみどり豊かな半島づくり

都市近郊に残された貴重な自然環境の保全を図るため、小網代の森については近郊緑地保全区域の指定や土地の買入れなど、鎌倉市を中心とする歴史的風土を形成する緑地についても、保全を推進しています。

横須賀市では、農業体験型総合公園である長井海の手公園(ソレイユの丘)や猿島の整備を行いました。

また、三浦半島地域で被害が顕著な外来鳥獣の被害防止のため、神奈川県アライグマ防除実施計画を策定し、防除事業を実施しています。



中高年ホームファーマー

2 産業の活力あふれる半島づくり

地域に根ざし地域資源を生かした産業を展開するため、三浦市では、第25回全国豊かな海づくり大会三浦地域大会を開催しました。

中心市街地の活性化を図るため、横須賀市では一店逸品運動の取組みを、逗子市では統一イベントの開催や商店のレベルアップ事業などの計画を推進しています。

海業拠点である三崎漁港では、二町谷地区の基盤整備として防波堤や臨港道路などの整備に取り組み、三戸小網代地区のほ場整備など農業生産基盤の整備を進めるほか、農業の多様な担い手の育成を図るため、中高年ホームファーマー*事業を推進しています。

また、産業や交流の基盤となる幹線道路網として、三浦縦貫道路(Ⅱ期)、大船立体(都市計画道路腰越大船線)の整備を進めています。



エコミュージアムガイドツアー(城ヶ島)

地区の数値データ(指標)

●森林面積 (単位: ha)			
	1975	1990	2005
	8,342 (7.9%)	7,108 (7.3%)	6,760 (7.1%)

(「神奈川県国土利用計画土地統計資料」より作成)

●従業者数 (単位: 人)			
	1999	2001	2004
	223,194 (7.2%)	223,265 (7.2%)	215,391 (7.3%)

(「事業所・企業統計調査」より作成)

●人口 (単位: 人)			
	1996	2001	2006
	741,713 (9.0%)	736,750 (8.7%)	736,636 (8.4%)

(「神奈川県人口統計調査」より作成)

●高齢化率(65歳以上の人の割合) (単位: %)			
	1996	2001	2006
	15.6 (11.1)	19.1 (13.9)	22.6 (17.0)

*〔〕内は全県の高齢化率 (「神奈川県年齢別人口統計調査」より作成)

※()内は全県に占める割合

3 やすらぎ・うるおい・にぎわい半島づくり

横須賀市では、JR横須賀駅から観音崎を結ぶうみかぜの道の整備に取り組みとともに、美術館の整備をしました。鎌倉市では、「武家の古都・鎌倉」の世界遺産登録に向けて、候補遺産の公有地化・史跡指定・保存管理計画の策定を、逗子市、葉山町では長柄桜山古墳群の指定地の調査・整備を進めています。

また、横須賀三浦地域の観光振興を図るため、新たに広域的な総合観光マップなどを作成するとともに、エコミュージアム活動団体のネットワーク「三浦半島まるごと博物館連絡会」を組織し、ガイドブック作成などの事業を実施しました。

● 課題と今後の対応方向

小網代の森や鎌倉三大緑地をはじめとする貴重なみどりの保全・利活用の一層の推進に努め、また、アライグマなどの計画的・効果的防除により外来鳥獣の被害防止を進めます。

産業振興や広域的な交流・連携の強化を図るため道路網の整備を順次進めるとともに、「武家の古都・鎌倉」の世界遺産への登録を推進します。

さらに、三浦半島公園圏構想を踏まえて、「みどり」と「うみ」に囲まれた公園のような「魅力」と「活力」ある三浦半島をめざします。

※ 中高年ホームファーマー

主として耕作されなくなった農地を県が農家から借り受け、借りた農地を耕作できる状態にし、中高年の方などに耕作していただく事業で、県民の皆さんに健康と生きがいの場を提供し、併せて耕作放棄地を解消し農地の保全を図るものです。

Ⅳ 津久井地区 ～森と湖の都 人と自然の産業が共生するまち・津久井～

● 主な取り組み

1 水源地と豊かな自然を守り活用した魅力ある地域づくり

水源の森林づくり事業により水源林を確保するとともにダム貯水池の堆積土砂の除去、エアレーション*1及び植物浄化施設による水質浄化並びに生活排水処理施設の整備を行うなど水源地域の環境保全に努めています。

また、県立陣馬相模湖自然公園の公園計画の見直しと公園歩道の整備を行うとともに、都市住民との交流基盤として小倉橋親水広場の整備などを行う一方、水源地域交流の里づくりの交流イベントを各市町内で開催するなど、自然環境の活用を行っています。



小倉橋親水広場

2 都市との交流による魅力ある産業づくり

県立津久井湖城山公園の園路及び研修棟などの整備や小松・城北地区の里山の保全活動などを推進するとともに観光PRのためのモニターツアーの実施や施設案内看板の設置などの観光魅力づくりを推進しました。

また、津久井町及び藤野町において、大豆、ブルーベリー、ゆずなどを栽培し地域特産物の生産・加工・販売の検証と景観植栽などの整備を行う「みどりの郷(さと)」づくり事業を推進し、藤野町ではゆずの加工施設の整備も行いました。

そのほか、有害鳥獣の防護柵の設置や捕獲・追払いなどの鳥獣被害対策や、近年吸血被害が拡大しているヤマビル**2被害対策にも取り組んでいます。



ゆずの加工施設

3 地域に活力を与える道路などの基盤整備

津久井広域道路や国道412号、413号などの幹線道路網の整備、県道510号(荒句橋)などの交通安全施設の整備などの多様な交流を支える道路網の整備を進めています。

また、生活交通確保対策としてバス事業者への支援など乗合バス路線の維持に努めています。

そのほか砂防施設や急傾斜地崩壊防止施設の整備や治山工事を実施し、自然災害に強い治山治水対策を推進しています。

地区の数値データ(指標)

●生活排水処理施設整備状況 (単位: %)			
	2002	2003	2004
	55.6 [94.7]	57.1 [95.3]	58.7 [95.8]

※〔〕内は、県全体の整備率 (「大気水質課調べ」より作成)

●入込観光客数 (単位: 千人)			
	2003	2004	2005
	2,688 (1.8%)	2,877 (1.8%)	2,660 (1.7%)

(「神奈川県入込観光客調査報告書」(神奈川県観光振興対策協議会)より作成)

●販売農家戸数、65歳以上の農業就業人口比率、耕地面積、耕作放棄地

項目	1995	2000	2005
販売農家数(戸)	593 (2.7%)	460 (2.4%)	342 (2.1%)
65歳以上の農業就業人口比率(%)	52.7 (-)	62.3 (-)	66.5 (-)
耕地面積(ha)	981 (4.1%)	812 (3.7%)	808 (3.8%)
耕作放棄地(ha)	155 (12.8%)	164 (11.3%)	241 (15.1%)

(耕地面積は「神奈川県農林水産統計年報」より作成
他は「世界農業センサス結果概要」より作成)

●主要道路の平日12時間交通量の推移 (単位: 台)

路線名	観測点	1994	1999	2005
国道412号	津久井町長竹	9,450	11,422	10,213
国道412号	津久井町三ヶ木	9,090	12,078	10,393
国道413号	津久井町中野	14,228	15,466	14,612
国道413号	城山町久保沢	11,010	12,471	10,948

※ 交通量は、乗用車・バス・小型貨物・普通貨物の合計
※ 午前7時から午後7時までの交通量 (「道路交通情報調査」より作成)

※()内は全県に占める割合

※ 1 エアレーション

コンプレッサーで湖内に空気を送って対流を起こし、浅いところの水と深いところの水を混合し、表面水温を低下させることによってアオコなどの藻類の増殖を抑えます。

※ 2 ヤマビル

ミミズやゴカイの仲間(環形動物)で大きざ1.5~5cm程度。雌雄同体で動物の血液を吸って成長・産卵します。

